

施設評価調書

令和7年3月31日

施 設 名	下田市立吉佐美運動公園			施 設 番 号	10003
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設	施設小分類	スポーツ施設
所 管 課	教育委員会生涯学習課				

設置目的の達成度

計画と実績

施 設 名 称	下田市立吉佐美運動公園			施 設 番 号	10003	
設 置 目 的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。					
運 営 事 業 名	R5年度実績値	R6年度目標値	R6年度実績値	対前年度比	目標達成率	評価
施設利用者数	5,983 人	7,000 人	5,995 人	100.2%	85.6%	B
				-	-	
				-	-	
				-	-	
				-	-	
				-	-	
設置目的に対する総合評価						B
目的達成度の評価基準	施設の利活用による設置目的の達成度合いが判断しにくいため、有料部分の施設利用者数を評価基準とした。平成22年度から、前年度実績を目標値として設定。 A→100%以上 B→80%～99% C→60～79% D→40～59% E→40%未満					

現状分析

運営事業の 意義と現状	当該施設は、海水浴場に隣接し自然環境に恵まれた運動公園施設であり、スポーツ会場として市民の健康増進、レクリエーション活動の場を、公園として憩いの場を提供する施設としている。敷根公園健康広場の補完的な施設としての需要がある。
上記の原因	現在は、軟式野球（休日）・グラウンドゴルフ（平日）の利用が、大半を占めている。 スポーツ合宿、大会誘致推進協議会において、活用方法・施設整備等の検討を行う。

次年度以降への改善点

[illegible]

施設評価調査

基準日 令和7年3月31日

施設名	下田市立吉佐美運動公園			施設番号	10003
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設	施設小分類	スポーツ施設
所管課	教育委員会生涯学習課				

効率性

計画と実績

効率性指標		R5年度実績値	R6年度目標値	R6年度実績値	対前年度比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数	5,983 人	7,000 人	5,995 人	100.20%	85.64%
	B 下田市年間経費	2,623,384 円	1,942,114 円	130,272 円	4.97%	#####
	B / A	438.47 円	277.44 円	21.73 円	4.96%	#####
②光熱水費		151,992 円	161,000 円	130,272 円	85.71%	123.59%
効率性指標の考え方等		A 施設総利用者数等 = 申請における利用者数を集計して総利用者数とした。 (占有以外の使用は自由なため、占有以外のトイレのみの利用等は含まない。) B 年間経費 = 支出額 (目標値は当初予算額) + 人件費				

その他の指標

受益者負担 の適正性	区分	説明	単位	R4年度		R5年度		R6年度		
	①使用料原価	1㎡1時間当たりの原価	円		円		円		円	
	②稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%		%		%		%	
	③1㎡1時間適正使用料	①×②	円		円		円		円	
	④現行1㎡1時間使用料の平均	大・小ホール、会議室、楽屋等の平均値	円							円
	⑤適正化計画	大・小ホール、会議室、楽屋等の見直し								

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(予算)
	人口(4月1日:人)		20,287	19,963	19,545	19,016
	人口1人あたり(円/人)	運営経費	87	132	7	103
		年間総経費	72	115	-12	85

* 人口1人あたりの運営経費: 運営経費(支出計) / 人口 * 小数点以下切り上げ
 * 人口1人あたりの年間総経費: 下田市負担年間総経費 / 人口 * 小数点以下切り上げ

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施 設 名	下田市立古佐美運動公園			施設番号	10003
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設	施設小分類	スポーツ施設
所 管 課	教育委員会生涯学習課				

利用者満足度調査

[illegible]

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	下田市立吉佐美運動公園			施設番号	10003
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設	施設小分類	スポーツ施設

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美運動公園			2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育課係		
3 所在地	下田市吉佐美1900番地の1			4 設置年月	昭和50年1月		
5 総合計画の 位置付け	基本計画の分野			分野2 子育て・教育			
	施策体系			施策6 生涯スポーツの振興			
6 設置目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。						
7 設置根拠	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例（平成15年10月3日条例第12号）						
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 17854.82㎡ 建築面積 43.5㎡ 延床面積 43.5㎡ 構造 木造 地上1階 運動公園 野球場レフト側110m、センター80m、ライト側90m					
		・昭和49年から、国有地を占用し「下田市立総合ウラウンド」として整備し、以後、市内屋外体育施設の中核をなす役割を担ってきた。・平成15年度に国有地の1/3を払い下げ、2/3を無償貸与という契約を締結し、その条件として平成20年3月11日を期限に運動公園の整備を進めてきた。（整備事業概要-トイレ兼器具庫改築、防球ネット設備、駐車場整備）・平成16年度から、名称を「下田市立吉佐美運動公園」と改め、体育施設と公園施設の性質を併せ持つ社会教育施設として活用を図っている。・平成29年度に修繕及び災害復旧でベンチ関係一式を取替を行った。					
	料金体系 (利用料金)	料金区分	一般市内／市外、高校生以下市内／市外				
		主な利用料金		午前 (8:30～12:30)	午後 (12:30～17:00)	一日 (8:30～17:00)	
			一般市内	1,470	1,680	3,150	
			一般市外	2,930	3,350	6,280	
			高校生以下市内	730	840	1,570	
		高校生以下市外	1,470	1,680	3,150		
	減免内容	(使用料の減免) 第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。 2 前項に規定する使用料の減免は、次に定めるとおりとする。 (1) 下田市が主催し、又は委託する事業で使用するとき。 全額免除 (2) 下田市内の保育所、幼稚園又は小中学校が、園児、児童又は生徒の保育若しくは教育のために使用するとき。 全額免除 (3) 官公署、公益法人又は報道機関が、公益事業のため入場料を徴収しないで使用するとき。 全額免除 (4) 前各号に定めるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。 市長が定める額					
		利用料金制度 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
施設運営 方 法	一部委託	指定管理者		清掃管理			
		一部委託 委託内容					
直接従事職員	下田市職員数 0.033人工 委託団体職員数 エルダーの会						

施設評価調書

				基準日	令和7年3月31日
施 設 名	下田市立吉佐美運動公園			施 設 番 号	10003
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設	施設小分類	スポーツ施設

施設の概要

9 市内の類似施設	下田市所有	敷根公園、学校屋外体育施設
	民間所有	なし

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		R6年度末残高		備考
	建設事業費				減価償却の方法
	地質調査費		建物減価償却取得価格	13,483,026	・ 定額法 ・ 残存価1円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数50年 市債は防球ネット、駐車場等整備に係るものを含む。
	設計競技		建物年間減価償却額		
	周辺整備				
	用地購入		建物減価償却後残高		
	実施設計料				
	工事管理費				
	取得価格 計		土地残高		
	建設工事		建設工事残存価格		
	電気設備工事		電気設備残存価格		
	機械設備工事		機械設備残存価格		
	備品購入費		物品減価償却後残高		
	その他委託				
	その他工事				
	事務費				
	財源内訳				
	国・県支出金				
	市債	27,100,000	市債残高	647080	
	一般財源				
	基金繰入				

11 備考	
-------	--